



株式会社淀川製鋼所の二田哲代表取締役社長の来訪について

11月29日、株式会社淀川製鋼所の二田哲代表取締役社長があいさつを兼ね、隈元稔夫取締役常務執行役員とともに呉市長を訪問され、次のとおり説明がありました。

同社は、溶融亜鉛めっき鋼板を主軸として事業活動を展開し、カラー鋼板、ガルバリウム鋼板などの新技術を相次いで導入し、表面処理鋼板メーカーとしての地位を確立しています。こうした日本・世界に貢献する企業が呉市に立地していることについて、今後も情報発信してまいります。

《説明の趣旨》

株式会社淀川製鋼所呉工場では、原材料である熱延鋼板を酸洗、冷間圧延した後、亜鉛めっきやカラー塗装等の表面処理を行った鋼板を製造しています。これらの鋼板は耐食性、加工性に優れているため、建築材料をはじめ家電製品・住宅設備機器など、様々な分野で使用されています。たとえば、身近なところでは呉市役所の屋根に当工場で生産した鋼板を採用いただいております。

また、当工場は当社の大阪工場（大阪府）や市川工場（千葉県）での製造用原板となる冷延鋼板やめっき鋼板等を供給しており、当社の重要な生産拠点のひとつとなっています。

1954年の操業開始以来、この呉の地に根ざした工場として、事業活動を行ってきました。今後もお客様や地域の皆様から信頼をいただけるように、計画的な設備のリニューアル等に取り組んでまいります。